

サイクルツーリズムの推進

乗用車は5km未満での短距離利用が約4割を占め、1人での利用が中心となっています。一方で、自転車は5km未満の利用が約8割を占めています。温室効果ガスの排出を低減するためには、こうした乗用車の短距離移動を自転車に転換していく必要があります。自転車利用を推進するためには、自転車の利用実態を把握・分析し、各種施策やサイクリング環境の整備に活用していく必要があります。2025年大阪・関西万博における自転車での来場実態について、携帯位置情報やAIカメラ等を活用して可視化することで、地域と連携してサイクルツーリズムを盛り上げていきます。



万博時の自転車利用実態を可視化

大阪府域における広域的な自転車通行環境整備

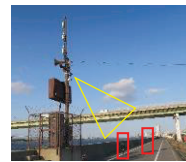


大阪府等は、2025年大阪・関西万博の開催を契機に、国内外から多くの来訪者が自転車で広域的に安全、快適に移動できるルートを設定

組合せ分析

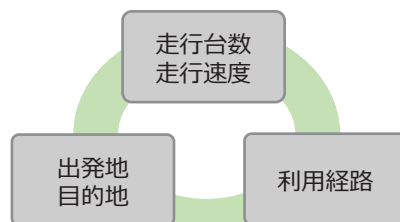


携帯位置情報



AIカメラ

利用実態を可視化



利用実態の分布（イメージ）



サイクリング環境の整備

走行環境

- ・ 迷い箇所における案内看板の追加整備
- ・ 危険箇所の注意喚起、安全対策

受入環境

- ・ サイクルステーション（休憩設備）の整備

情報発信

- ・ 自転車での来場者数の把握
- ・ 自転車での来場範囲の把握・ルート検証

